



県議会とちぎ

第 83 号
2007年8月5日
編集・発行 栃木県議会
〒320 8501 宇都宮市埴田1 1 20
TEL 028 6 2 3 3 7 7 2
FAX 028 6 2 3 3 7 5 5
Eメール gikai@pref.tochigi.jp
HPアドレス http://www.pref.tochigi.jp/assembly/

表紙の説明

平成十八年三月二十日、今市市、日光市、藤原町、足尾町、栗山村の二市二町一村が合併して、新しい日光市が誕生しました。
戦場ヶ原は、日光国立公園内の標高約一四〇〇メートルにある湿原で、自然の宝庫です。平成十七年十一月には、湯ノ湖、湯川、小田代原とともに「日光の湿原」としてラムサール条約登録湿地となりました。湿原内には木の散策路が設けられており、多くの人がハイキングを楽しんでいます。



戦場ヶ原(日光市)

第290回定例会(平成19年6月)

とちぎの元気な森づくり県民税条例の制定等を可決

第290回県議会定例会は、6月8日から6月26日まで、19日間の会期で開かれ、6月13、14日及び18日には、上程議案並びに県政全般に関する質疑・質問が行われました。

本定例会では、「とちぎの元気な森づくり県民税条例の制定について」をはじめ知事から提出があった19議案(条例関係10件、その他9件)と議員から提出があった11議案(条例関係2件、意見書7件、決議1件、その他1件)が原案どおり可決されました。

また、請願・陳情については、8件のうち1件を採択、4件が不採択で3件が継続審査となりました。

第290回定例会 代表・一般質問者



梶 克之(自民党)



佐藤 栄(県民ネット)



上野 通子(自民党)



若林 和雄(自民党)



山口 恒夫(公明・新政)



小林 幹夫(自民党)



岩崎 信(自民党)



板橋 一好(自民党)



齋藤 孝明(県民ネット)



野田 尚吾(自民党)

()は所属党派 (自民党) 栃木県議会自由民主党議員会 (県民ネット) 県民ネット21 (公明・新政) 公明党・新政クラブ議員会

第83号の内容

- 定例会の概要 ————— 1
- 可決された主な議案 ————— 1
- 可決された意見書・決議 — 1
- 主な質疑・質問要旨 — 2~3
- 質問項目一覧 ————— 3
- 委員会の活動状況 ————— 4
- 広報番組のお知らせ ————— 4

可決された意見書・決議

地方分権改革の推進を求める意見書
森林整備の着実な推進を求める意見書
異常気象による災害対策の強化・拡充を求める意見書
狂犬病予防対策の強化・充実に関する意見書
道路整備財源の確保を求める意見書
警察官の増員に関する意見書
年金記録問題を早期に解決し国民の不安の解消を求める意見書
飲酒運転の根絶に関する決議

可決された主な議案

とちぎの元気な森づくり県民税条例の制定について
郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理について
栃木県議会議員及び栃木県知事の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例の一部改正について
政治倫理の確立のための栃木県議会議員の資産等の公開に関する条例及び栃木県議会情報公開条例の一部改正について

第290回 栃木県議会定例会日程

月 日	曜日	議 事 日 程
6月 8日	金	本会議(開会・議案上程)
11日	月	議案調査
12日	火	"
13日	水	本会議(質疑・質問)
14日	木	"
18日	月	"
19日	火	常任委員会
21日	木	特別委員会
25日	月	議会運営委員会
26日	火	本会議(採決・閉会)

定例会の概要

第290回定例会 本会議質疑・質問から

主な質疑・質問の要旨と、これに対する知事などの執行部の答弁の要旨は次のとおりです。



栃木SCの試合の様子

栃木SCへの支援

問 プロスポーツチームの存在は、スポーツ振興、青少年の健全育成、地域振興など、様々な効果が期待できる。

答 本県でも栃木ブレックスの設立など、プロスポーツの動きが活発となってきたとあり、中でも栃木SCのホームスタジアム整備について県民の関心が高まっている。

そこで、ホームスタジアムの整備を含めた栃木SCへの支援について知事の考えを聞きたい。

答 現在、県では、栃木SCに対し、事務所の貸与や職員の派遣などを実施している。今後は、Jリーグにおける新たな基準の検討状況を踏まえ、県有施設以外の改修の可能性や、新設する場合の基本仕様について早急に調査し、栃木SCがJ2への加盟申請を行う9月頃までには、方向性を見出し対応していく。

栃木SCのホームスタジアム

問 鹿沼市営サッカー場周辺地域は、県中央部に位置し、交通アクセスが良いこと、隣接地の用地確保が容易なことなど、多くの好条件に恵まれている。

答 栃木SCのホームスタジアム候補地の一つとして、検討する考えはあるか。

答 Jリーグにおけるスタジアムの新たな基準の検討状況などを踏まえるほか、県の財政状況や県有未利用地の活用方法の整合性なども勘案しながら、サッカースタジアム整備の方向性についての結論を早期に得ていきたい。

地方分権改革

問 地方分権改革が指すのは地方の自己決定の範囲を拡大し、地方の自主性を高めることであるが、これまでの改革では、権限や税源の移譲など多くの課題が残されていると思う。

答 県と市町村のあり方を含め、今後、国が進めようとしている地方分権改革にどのように関与していくのか知事に聞きたい。

答 庁内に検討会を設置して本県の考え方や、国と地方の役割分担などについて検討を始めた。県と市町村の役割分担に十分配慮しながら、市町村の体制強化を図る必要があると考えており、国に対して

意見を申し入れるなど、県民のために真に必要となる地方分権改革の実現に向けて全力で取り組んでいく。

県民の県政参加

問 県政の主人公は県民であり、県民投票など直接民主主義に根ざした制度を「とちぎ自治基本条例(仮称)」に位置づける意義は大きいと考える。条例の制定を検討するに当たり、県民の県政への参加や総体的な意思の表明について、知事はどのような理念を掲げていくのか。

答 昨年度、「とちぎ自治基本条例(仮称) 検討懇談会」を設置し、条例の必要性等について、委員から様々なご意見をいただいたところであるが、今後は必要性的議論と並行して、住民投票などによる県民の県政参加など、一つの論点について、議論を深めてもらいたいと考えている。

問 横浜市など自ら稼ぐビジネスに取り組み自治体が増えている。大きな収入源は期待しにくいですが、厳しい財政状況のなか自ら稼ぎ、住民サービスを展開することは、職員意識改革にも貢献する。本県でも積極的に取り組むべきかと考えるが、県の考えを聞きたい。

広告ビジネス

問 横浜市など自ら稼ぐビジネスに取り組み自治体が増えている。大きな収入源は期待しにくいですが、厳しい財政状況のなか自ら稼ぎ、住民サービスを展開することは、職員意識改革にも貢献する。本県でも積極的に取り組むべきかと考えるが、県の考えを聞きたい。

答 自主財源の確保のための取り組みは、ご指摘の点に加え、厳しい県財政に対する県民の理解促進にもつながるものと考えて、平成十八年度は、初めての



自動車税納税通知書封筒

試みとして自動車納税通知書封筒への企業広告などに取り組み、計三百四十四万円の収入を得た。本年度は、県ホームページへのバナー広告に取り組みなど、広告媒体を一層拡大して自主財源の確保に積極的に努めていく。

国庫補助事業導入と県財政の健全化の関係

問 国庫補助を国に要望し、採択された場合、新たな財政出動が必要な場合も考えられるが、財政収支、県債残高との関係を考慮する必要がある。そこで、県単独事業を減らすことで、国庫補助事業を導入するのかが、県単独事業に代えて国庫補助事業が導入可能な場合のみ選択するかなどが焦点となるが、知事の考えを聞きたい。

答 本県の財政状況は極めて厳しく、国庫補助の採択状況によっては、県単独事業の一部振り替えなどが必要な場合もあるが、予定した県単独事業部分は、国庫補助事業でカバーするなど工夫していく。

問 今後とも、事業の目的や効果と財源の状況などを十分見極め、国庫補助事業と県単独事業を効果的、効率的に組み合わせ、計画的な社会資本の整備に努めていく。

イノシシ対策

問 イノシシによる農作物の被害を減らすためには、捕獲の促進と併せ、荒れてやぶ化している山林を整備するなど、イノシシを人里に寄せ付けけないための取組が必要だが、県はどのように取り組んでいくのか。

答 捕獲促進については、今年度、わな猟免許単独試験日の新設などにより、狩猟免許受験者の利便性を図る。

また、人里に寄せ付けけないための対策は地域全体での取組が重要なため、昨年度から、指導者の養成や地元協議会の

設置を支援した結果、電気柵設置などの取組が進んだことから、県内各地への協議会設置促進に努めていく。荒れた里山林の整備については、今議会に条例案を上程した、「とちぎの元気な森づくり県民税」の活用も検討する。

自殺防止対策

問 自殺の主な原因は、健康や経済、家庭問題などが挙げられているが、こうしたデータの中には、防止策のヒントがあるのではないかと考える。国においては、自殺総合対策大綱が策定されたが、本県の自殺防止対策の基本的考え方として、知事に聞きたい。

答 県では、「自殺対策推進本部」を今年一月に設置し、本県の自殺対策の取組方向などについて検討を行い、七月には行政機関だけでなく地域、職域、学校などの関係機関等で構成する「自殺対策連絡協議会」を設置したところであり、オールとちぎ体制による自殺対策を推進していく。

今年度は、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができるよう人材育成や相談支援体制の充実も図っていく。

足利銀行の受け皿問題

問 足利銀行の受け皿となる新銀行が、早期の再上場を狙って貸出先の選別を過激に行うなど、事業計画書に示す地域密着型金融を実行しない場合、何らかのペナルティーを課すよう国に要望することも必要と思う。

答 新銀行においても本県の中核的金融機関としての機能が担保されるよう、受け皿移行時には一定の条件を附すること、また、移行後も事業計画に基づき誠実に実行するよう指導・監督することが重要と考える。

引き続き、県議会ははじめ関係

者などと連携を図りながら、選定過程の節目に再度要望活動を行うなど、適時・適切に対応していく。

魅力ある農業の確立

問 国は、「品目横断的経営安定対策」などを今年度からスタートさせたが、戦後農政の大きな政策転換に対し、対応に苦慮する農業者も多く、小規模農家は、今後も農業を続けるか、不安を感じている。そこで、新たな経営所得安定対策の本格導入に際して、将来展望が開けるよう、本県農業の振興にどのように取り組むのか知事に聞きたい。

答 「品目横断的経営安定対策」では、小規模農家や兼業農家なども対象となるよう集落営農組織の育成に取り組み、今年度から営農に意欲的な小規模農家に対し、園芸への転換を支援していく。

併せて地域が農村環境の保全などに取り組み、「農地・水・環境保全向上対策」を県内全域で推進し、本県が目指す首都圏農業の確立に全力で取り組んでいく。

農業・農村におけるバイオマスの活用促進

問 未利用農地等を利用して環境保全・景観形成など農業の持つ多面的機能を活用する取組に、「菜の花資源循環システム」などのバイオマスがある。農業・農村の持つ機能を開拓し、かつ資源循環を進める観点からバイオマスの利活用にとどのように取り組むのか知事に聞きたい。

答 新銀行において本県の中核的金融機関としての機能が担保されるよう、受け皿移行時には一定の条件を附すること、また、移行後も事業計画に基づき誠実に実行するよう指導・監督することが重要と考える。

引き続き、県議会ははじめ関係



菜の花

答 バイオマスは、地球温暖化防止や循環型社会の形成に重要であるため、県では、平成十七年に推進プランを策定し、総合的・計画的に推進している。本年度は、バイオガスをシステムの実証試験のほか、本県に適したナタネの品種選定研究などにも取り組む。

県道安塚宮宮線の整備

問 国道四号から西側の区間では、幅員が狭く、歩道もないことから、児童や生徒の通学や地域住民の日常生活に支障を来している。

答 本線は、沿道開発により交通量が増大したため、順次拡幅整備を進めてきたが、国道四号交差点を含む西側八百メートル幅員が狭く、歩道も未整備であることから、拡幅整備が必要であると考えている。今年度から、国などの関係機関と調整を図りながら、国道四号交差点を含む西側区間の整備計画の策定に着手する。

市、町との連携事業

問 小山市栗の宮地内の都市計画道路間々田東通りと県道小山環状線について、県と市の分担同時施工での事業を考えているようだが、どうか。

答 小山市街地と間々田地区を結ぶ都市計画道路の整備は、

地域住民の利便性の向上に寄与するものと認識しており、整備方針や役割分担などについて、小山市と連携を密にし

LR(リスク)管理と説明責任

問 公設民営方式を導入し、民間の参入が得られない場合、事業の白紙撤回も含め、事業手法の見直しを行うのか。

答 今年度、宇都宮市が主体となつて、交通事業者の参画も

また、仮に運営主体が破綻した場合の県のリスク管理などについて、どのように説明責任を果たしていくのか、知事の考えを聞きたい。

学校における禁煙対策

問 日本学校保健学会の調査によれば、既に三十六都道府県において、都道府県立学校

情に応じた取組を実施している保護者や地域住民、教職員の理解が必要なため、ある程度の期間を要するが、平成二十一年

下野国分寺跡と下野薬師寺跡の整備

問 下野国分寺跡と下野薬師寺跡は、足利学校跡とともに、栃木県で最初の国の史跡として

答 学識経験者からなる、保存整備委員会の指導助言により策定された基本計画に基づき

また、検討の経過については、宇都宮市と連携を図りながら、積極的に市民・県民に示すと

県西地域への特別支援学校の設置

問 県西地域に特別支援学校がないために、鹿沼市及び西方町の一七名もの生徒が、宇都宮市や栃木市などへ通学

見極めながら、県内における地域バランズなどにも十分留意し、調査・研究を進めていく。

地域文化遺産の保護・保存

問 市町村指定の文化財は貴重な地域の文化遺産であり、県は、市町村が取り組むこれらの保護、保存を積極的に支援すべきと思うが、知事の考えを聞きたい。

答 地域の文化遺産は、地域づくりを行う上で重要な役割を果たすものだが、地域コミュニティの急激な変化などにより、その維持保存が困難になつて

また、育成強化については、競技力向上のための一貫指導体制の構築や指導方法の統一を図ることなどに努めていきたい。

スポーツの振興と小学校児童への取組

問 スポーツ少年団の育成強化策、小学生の全国大会への積極的な参加についての取組、小学校体育連盟の設立に対する



地域スポーツクラブの活動の様子

進する観点から、今後、県体育協会など関係団体とともに検討を進めていく。

行政対象暴力

問 先日、長崎市長が銃撃され死亡する事件が発生したが、県内自治体においても暴力や脅迫などによる不当な要求があると聞く。

答 長崎市長の事件は、民主主義への重大な挑戦であり、誠心誠意で対応する必要がある。また改めて職員

第二百九十回定例会質問項目一覧

Table with 6 columns listing council members and their questions. Columns include: 梶 克之議員, 山口 恒夫議員, 板橋 一好議員, 佐藤 栄議員, 小林 幹夫議員, 齋藤 孝明議員, 上野 通子議員, 岩崎 信議員, 野田 尚吾議員, 若林 和雄議員.



生活保健福祉委員会 (定数9人)

生活保健福祉委員会は、生活保健福祉部及び保健福祉部が所管する予算案や条例案、請願・陳情などの審査を行うほか、文化行政、防災対策、保健、福祉、衛生など、これらに關係する事項について調査を行います。

六月定例会中に開かれた委員会では、二件の議案と三件の請願・陳情を審査しました。

また、六月には、栃木市における福祉のトータルサポートを調査するなど、積極的な活動を行っています。



特別養護老人ホームで説明を受ける委員

- 柳淵 忠男 (自民党)
- 上野 通子 (自民党)
- 野村 節子 (共産党)
- 金子 裕 (自民党)
- 山口 恒夫 (公明・新政)
- 山田美也子 (県民ネット)
- 神谷 幸伸 (自民党)
- 野田 尚吾 (自民党)
- 増淵 賢一 (自民党)

県政経営委員会 (定数9人)

県政経営委員会では、総合政策部や経営管理部などが所管する予算案や条例案、請願・陳情などの審査を行うほか、県行政の総合企画、市町村行政の支援、地域振興、予算の編成、行財政改革、情報公開制度、県税の賦課徴収、県有財産の管理及び処分、地域の情報化などについて調査を行います。

六月定例会中に開かれた委員会では、九件の議案について審査するなど、活発な審査を行っています。



委員会で審議する委員

- 螺良 昭人 (自民党)
- 早川 尚秀 (自民党)
- 齋藤 孝明 (県民ネット)
- 山形 修治 (自民党)
- 若林 和雄 (自民党)
- 青木 克明 (自民党)
- 菅谷 文利 (県民ネット)
- 野村 壽彦 (無所属県民)
- 渡辺 渡 (自民党)

委員会の活動状況

足利銀行問題対策特別委員会 (定数12人)

足利銀行の受け皿問題については、現在、国による選定作業が進められていますが、年内にも受け皿が決定される見通しであり、正に最終局面を迎えています。

本委員会では、本県経済の持続的発展に向け、オール栃木体制の下に、地元の見解が最大限反映され、足利銀行が真に地域のため、県民のためになる銀行として、受け皿に万全の姿で承継されるよう、積極的な活動を行っています。



足利銀行問題について審議する委員

- 渡辺 渡 (自民党)
- 中川 幹雄 (自民党)
- 野村 節子 (共産党)
- 増淵三津男 (自民党)
- 佐藤 栄 (県民ネット)
- 小高 猛男 (公明・新政)
- 青木 克明 (自民党)
- 青木 務 (自民党)
- 野田 尚吾 (自民党)
- 佐藤 信 (県民ネット)
- 梶 克之 (自民党)
- 増淵 賢一 (自民党)

議会運営委員会 (定数11人)

議会運営委員会は、十一名の委員により構成されています。原則として、本会議開会の七日前と議案採決日の前日に開催されます。

本委員会は、本会議が円滑に運営できるように、会期、質問者の人数や質問順序、提出議案の取扱いなど議会運営全般に関する事項などを協議するとともに、議会運営上の諸問題について、会派間の意見を調整したり、取決めを行うています。



議会運営について審議する委員

- 青木 務 (自民党)
- 花塚 隆志 (自民党)
- 佐藤 栄 (県民ネット)
- 山口 恒夫 (公明・新政)
- 若林 和雄 (自民党)
- 一木 弘司 (県民ネット)
- 五十嵐 清 (自民党)
- 小林 幹夫 (自民党)
- 中川 幹雄 (自民党)
- 野村 壽彦 (無所属県民)
- 増淵 賢一 (自民党)

()は所属会派 (自民党) 栃木県議会自由民主党議員会 (県民ネット) 県民ネット21 (公明・新政) 公明党・新政クラブ議員会 (無所属県民) 無所属県民クラブ (共産党) 日本共産党委員会の構成等は平成19年7月1日現在です。凡例: 委員長 副委員長 委員は期数順、議席番号順

第291回 県議会定例会の開催予定

第291回定例会は、下記の日程で開催する予定です。本会議や委員会はどなたでも傍聴することができます。また、質疑・質問については、とちぎテレビとインターネットで生中継されます。

月 日	内 容	時 間	月 日	内 容	時 間
9月19日(水)	本会議(開会・議案上程)	午前10時	28日(金)	常任委員会	午前10時
20日(木)	議案調査	午前10時	10月1日(月)	"	"
21日(金)	"	"	2日(火)	特別委員会	午前10時
25日(火)	本会議(質疑・質問)	午前10時	3日(水)	"	"
26日(水)	"	"	4日(木)	議会運営委員会	午前11時
27日(木)	"	"	5日(金)	本会議(採決・閉会)	午前10時

開催予定の詳細は、県議会議務局議事課(028-623-3761)までお問い合わせください。

県議会広報テレビ番組のお知らせ

「県議会へようこそ(とちぎテレビ)を通じて、県議会の動きなどを皆さまにお届けしています。番組内容は次のとおりです。ぜひご覧ください。

「委員会からこんにちは」 県議会に設置された委員会等の活動の様態を7回に分けて放送します。

第1回 議会運営委員会・県土整備委員会 再放送 8月10日(金) 午後7時30分~7時45分 (本放送は8月4日(土)に放送されました)	第3回 県政経営委員会・農林環境委員会 本放送 9月22日(土) 午前10時5分~10時20分 再放送 9月28日(金) 午後7時30分~7時45分
第2回 生活保健福祉委員会・文教警察委員会 本放送 8月25日(土) 午前10時5分~10時20分 再放送 8月31日(金) 午後7時30分~7時45分	第4回 経済企業委員会・地域医療対策特別委員会 本放送 10月20日(土) 午前10時5分~10時20分 再放送 10月26日(金) 午後7時30分~7時45分

第5~7回の放送予定は次号でお知らせします。